

平成17年度 事務事業評価表					
〔様式1〕					
記入年月日	平成17年5月19日			記入者	内線 2745
部 名	環境保全部	課 名	環境保全課	課長名	西丸三千則
事務事業名	合併処理浄化槽設置補助事業				
予算上の事務事業名	合併処理浄化槽設置補助事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード			21120	
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政 策 名	第1章 人と自然にやさしい地域社会をつくります				
基本施策名	第1節 地球環境の保全に向けた取り組み				事業開始年度
施 策 名	第2施策 環境負荷の低減を進めるしくみづくり				平成元年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
国・県・市合併処理浄化槽設置補助金交付要綱					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)	
生活排水によって生じる水質汚濁負荷を低減させ、良好な公共用水域環境を保持していくため、補助対象区域に合併処理浄化槽を設置する者に対して補助金を交付し、設置を促進していく。				合併処理浄化槽設置者	
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
・合併処理浄化槽設置者に対する補助金の交付					
人槽区分	補助額	交付基数			
5人槽	600千円	8基			
7人槽	770千円	0基			
10人槽	1,000千円	0基			
6 関連・類似事業や他市の状況					
7 事業費の推移 [単位：千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	16,220	10,340	4,800	15,190	15,190
一般財源	10,989	7,322	2,912	10,456	10,456
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	5,231	3,018	1,888	4,734	4,734
人件費の合計	374	398	398	398	398
事業コスト合計(a)	16,594	10,738	5,198	15,588	15,588
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	合併処理浄化槽設置補助事業			対象名称(単位)	市内世帯数(世帯)
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	16,220	10,340	4,800	15,190	15,190
対象数	244,000	248,000	252,000	255,000	259,000
単位あたり経費(円)	66	42	19	60	59
前年度比		0.63	0.46	3.13	0.98

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	合併処理浄化槽普及率 (%)		指標式と指標の説明 合併処理浄化槽の基数÷全ての浄化槽基数×100		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	17.0	19.7	21.0		
目標	17.0	19.0	21.0	23.0	25.0
目標達成度	1.00	1.04	1.00		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	単独処理浄化槽減少率 (%)		指標式と指標の説明 対象年度基数÷前年度基数×100		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	91.0	88.0	92.2		
目標	91.0	90.0	90.0	0.0	0.0
目標達成度	100.0	97.7	102.4		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
C	<input type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		下水道を整備するよりも財政負担が少なく済む地域もあり、今後とも継続して取り組む必要がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 要綱に基づく合併処理浄化槽設置の取り組みを徹底するとともに、パンフレットの配布や広報による制度の周知を積極的に推進する。			14 課題として認識されたこと 平成18年度より国の補助金が廃止され交付金となることや、市町合併により補助対象件数の急増が想定されることから、補助金額等の適正化が課題となる。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			